# ミネラルの宝庫

## 海からの贈り物

# *ケルパック 66* 海藻粉体

本材は、南アフリカ産・巨大海藻エクロニアマキシマ(草丈 12～13m、茎の直径が 7～8cm にもなる竹に似た海藻)を天日乾燥後、粉砕した特殊肥料です。

同じ畑に同じ作物を永年作り続けていると嫌地現象が現われ作物が穫れなくなります。これは、その作物を好む病害虫が増えたり、土に毒素が溜まったり、ある種の微量要素が欠乏するからです。このうち、微量要素の欠乏だけは微量要素を施してやる以外に解決の方法はないため施してやらなければなりません。しかし、微量要素は高価であるため、畑全面に施すという発想はなく、欠乏症の現れたときに部分的に株元の土壌へ施すとか、または、一時凌ぎに葉面散布してやる、というのがこれまでのやり方でした。それを、安価で微量要素に富む海藻粉末を畑全面に施すことによって解消し、同時に作物の生育を旺盛にし、増収と高品質化を図るというのが、「ケルパック66海藻粉末」の土壌施用方法です。

## ● 海はあらゆる微量要素の宝庫であり、海藻はそれらの濃縮工場

海は陸上の成分の受け皿として全てのものを溶かし込んでいるので、それらのものを陸地に戻すことができれば土は生き返るわけですが、微量要素を海水から工業的に回収するにはコストが掛かり過ぎます。それに対し、海には海藻という大変効率のよい濃縮工場があり、植物の生育に必要なものだけを分別回収してくれるので、その海藻を丸ごと土に戻してやれば土は生き返ることができるのです。ケルパック 66 粉体が**海からの贈り物**といわれる由縁はここにあります。

主な成分の成分量(1kg 当たり)

| 組成 | |
|---|---|
| タンパク質 | 78.0g |
| 脂質 | 4.5g |
| 炭水化物 | 431.5g |
| 内アルギン酸 | 25.0% |
| マンニトール | 7.0% |
| ラミナリン | 0.4% |
| 繊維 | 102.0g |
| 水分 | 94.0g |
| 灰分 | 290.0g |
| 計 | 1,000.0g |

| ビタミン | |
|---|---|
| A(カロチン) | 510Unit |
| B1 | 164mg |
| B2 | 2.8mg |
| C | 193mg |
| カルシウムパントテン酸 | 2.7mg |
| ナイアシン | 17.2mg |
| 葉酸 | 0.1mg |

| 粗タンパク中のアミノ酸量 | |
|---|---|
| アラニン | 7.00g |
| バリン | 3.75g |
| グリシン | 3.50g |
| イソロイシン | 2.30g |
| ロイシン | 4.50g |
| プロリン | 4.60g |
| スレオニン | 3.80g |
| セリン | 5.20g |
| メチオニン | 1.80g |
| フェニルアラニン | 200mg |
| アルギニン | 400mg |
| ハイドロキシプロリン | 900mg |
| アスパラギン酸 | 7.9mg |
| グルタミン酸 | 500mg |
| チロシン | 8.30mg |
| オルニチン | 500mg |
| リジン | 6.80g |

| 灰分中の組成 | |
|---|---|
| バリウム | 47.0mg |
| ホウ素 | 6.0g |
| カルシウム | 27.1g |
| コバルト | 8.0g |
| 銅 | 16.0mg |
| フッ素 | 10.0mg |
| ヨウ素 | 700.0mg |
| 鉄 | 1.1g |
| マグネシウム | 7.4g |
| マンガン | 210.0mg |
| 亜鉛 | 60.0mg |
| モリブデン | 9.0mg |
| ニッケル | 8.0mg |
| リン | 132.3mg |
| カリ | 69.0g |
| セレニウム | 0.4mg |
| ナトリウム | 40.0g |
| 硫黄 | 12.0g |

## ● ケルパック 66 海藻粉体の成分とその効力

ケルパック 66 粉体は植物栄養素の宝庫に喩えられます。無機のミネラルは、一般に水に溶け難く、植物に吸収され難いものですが、ケルパック66中のミネラルはアルギン酸等の多糖類と結合し水に溶けやすいキレート状になっているため根や葉から容易に吸収されます。ケルパック 66 がミネラルの供給源として優れている理由はここにあります。

## ● ケルパック66粉体の効力と液体の効力の違い

ケルパック66粉体の場合、液体と同一の効果を引き出すためには液体の施用量より多くの量を必要とします。これは海藻中に含まれる生理活性物質が天日乾燥しているうちに紫外線によって分解されるからです。液体の場合、10アール・一作当りの施用量は通常、0.5～1ℓ／10a もあれば充分ですが、粉体の場合は 50kg も必要とします。しかし、先にも述べたとおり粉体にはミネラルが一杯含まれているので微量要素の補給のために時々ケルパック液体に代え粉体も施すことをお勧めします。

**〈ケルパック66粉体と液体に共通する効力と、粉体にしかない効力〉**

[共通する効力]

1. 根張り向上、光合成能の向上が期待でき、株はガッシリとした生育になります。
2. 花芽の充実が期待できます。
3. 果実の着色向上や、糖度の向上など、品質向上に寄与します。
4. 生育が健全になるため、病気や線虫への耐性向上が期待できます。
5. 光合成能が向上することで、作物体内の未消化窒素の代謝が促され、日持ち性向上が期待できます。

**[粉体にしかない効力]**

1. 多糖類やミネラルが豊富であるため土壌中の微生物の働きが活発になります。その結果、土は 団粒化し、フカフカしてくる。
2. 微量要素欠乏症の予防になります。

## ● ケルパック 66 粉体の使用方法と使用量

| 作物名 | 使用場面 | 使用方法と使用量 |
|---|---|---|
| 葉菜類<br>果菜類<br>草花 | 苗床土 | 床土 1 ㎡当り 25～30g を全面散布し、土と混和する。 |
| | 鉢土 | ポット用土 1 ㎥当り 0.3～0.7kg 施用し、よく混和する。 |
| | 本畑<br>（元肥として） | 全面施用の場合： 10a 当り 25～50kg |
| | | 畝施用の場合： 10a 当り 15～20kg |
| 果樹 | 本畑<br>（元肥として） | 幼木：20～30g/樹、中木：300g/樹、成木 2.5kg/樹 |
| 水稲<br>麦<br>豆類<br>いも類 | 本畑<br>（元肥として） | 水稲の場合： 10a 当り 10～15kg 全面散布、土との混和不要。<br>麦、豆類、いも類の場合： 10a 当り 10～15kg を肥料と一緒に播き溝、植え溝に施す。 |
| 芝 | ゴルフ場 | 1 ㎡当り 30～50g 施用し土と混和する。目土 1 ㎥に対し 1.5kg 加用し混和する。 |

**包装規格：20 kg袋入り**

2018.02